

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2020年9月10日

No 393

発行者：ELIC編集委員会谷口利男
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8
電話(03)6421-5323 染野ビル2F
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会



1部100円

新型コロナウイルス、影響を分析

【電機各社、第一四半期の業績を分析する】

電機各社とも、前年同期に比べて売上高が大幅に減少しています。

①日立では、コロナ禍により、売上収益△2,998億円、調整後営業利益△657億円それぞれ減少したとしています。但し、売上高の減少の一部は、日立化成の売却によるものです。セグメント別では、調整後営業利益で日立金属以外は営業益を確保しています。ITは依然として高い利益率(8.9%)になっています。

②パナソニックでは、コロナ禍により、売上高△3,500億円、営業利益△800億円となっています。営業赤字にはならなかったものの、営業利益が大幅にダウンしています。セグメント別の調整後営業利益では、オートモティブが△295億円、コネクティッドが△166億円と大幅な赤字になっています。

③ルネサスと富士通では、コロナ禍にも関わらず、営業利益を伸ばしています。ルネサスでは、「インフラストラクチャー」及び「IoT」で売上収益が伸びました。営業利益も、前期の赤字から306億円と大幅に上昇しました。これは、販売費及び一般管理費の費用削減(リストラ)によるものです。

④富士通では、コロナ禍による売上高で△358億円の減少がありましたが、営業利益が前期比188億円の増益になっています。スーパーコンピュータ富岳や5Gの基地局などが寄与しています。

⑤東芝・NEC・沖電気では、営業赤字とな

(第一四半期の各社業績)

単位億円

企業名	売上高		営業利益		
	今期	前期比	今期	前期比	利益率
日立	15,943	△ 21.6 %	584	△ 53 %	3.7 %
東芝	5,998	△ 26.2 %	△ 126	△ 262 %	△ 2.1 %
NEC	5,877	△ 10.1 %	△ 103	△ 291 %	△ 1.8 %
富士通	8,028	△ 4.3 %	223	556 %	2.8 %
三菱	8,582	△ 18.3 %	202	△ 63 %	2.4 %
パナソニック	13,919	△ 26.4 %	38	△ 93 %	0.3 %
シャープ	5,173	0.4 %	91	△ 38 %	1.8 %
富士電機	1,688	△ 4.1 %	24	△ 33 %	1.4 %
沖電気	814	△ 24.3 %	△ 11	△ 200 %	△ 1.4 %
ルネサスエ	3,454	0.8 %	306	- %	8.9 %
安川	908	△ 15.5 %	62	△ 14 %	6.8 %

(注：ルネサスは、第二四半期になります)

りました。元々収益構造が脆弱なことが、影響していると考えられます。NECでは、社会公共事業△33億円(PC特需終了)、ネットワーク△21億円(5G設備投資増)、グローバル△30億円(海外企業売上減)がそれぞれ営業赤字。東芝では、エネルギー△74億円、デバイス&ストレージ△46億円(半導体需要減)、リテール&プリンティング△43億円(複写機・POS需要減)がそれぞれ営業赤字。沖電気では、コロナ禍で、売上高で△110億円、営業利益で△20億円の影響があったとしています。

今月号の紙面

- ①電機各社の第一四半期業績を分析
- ②電機懇第33回総会議案の情勢
- ③電機懇第33回総会議案の方針
- ④不当解雇で裁判闘争を取り組む
- ⑤全労連「第30回大会」で新体制
- ⑥ラプラス「館山城」黒岩さん
- ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧電機懇「第33回総会」の案内
「からむす」普及。集積回路